

### 悪くありません

2007.09.05

今日両親と離れて2日目、私はまだホームシックになってないです。でもそのうちきっとホームシックに成るでしょう。幸いにも友達と一緒にいます。明日もっと明るくなると信じています!!!!!!!!!!!!

## ハートフル

2007.10.19

いま、よくかんがえること、こんな風に本当に留学生活が始まってしまった。これまでもいろいろ留学生生活を想像していた。。なつかしいおもい、こんなおもいは悲しみを呼び覚ますだけ、でもこんな感情が自分を成長させるのだと思う。悲しみを受け止め、そのなかでも喜びを見つけ微笑み、これも家族や友人を思うひとつの方法。この方法も年月とともに成熟したものへ成長できるのか。でも現在も、なくすことは出来ない大事な成長のステップ。このステップも恩恵。家族に甘えてばかりの自分が成長する為の。日本で、日中交流的センターの先生方は自分の心の中では家族も同然です。思い出すだけで心が温かくなります。先生方はいつもそっとみまもっていてくれるから。先生方と日本にきたばかりにころ、右も左もわからない私達を指導してくれ、一緒にいてくださいました。制服を着てまるで学生のような山崎先生も、可愛い富樫先生も、とてもとてもおだやかな橋本先生、そして小島先生。おかげで初めて来た日本にいてもみなさんは私の心の中ではファミリーのようです。いつも私達を信じ、応援してくれて。私ももっとがんばります。私のそばで私を信じてくれる“家族”のためにも、もっと努力しなくては。いつかの日か、今の自分を笑って振り返れる日が来るように！寒くなってきました、皆さんもお体にはくれぐれもきをつけて！

## 変化と習慣

2007.10.22

いつからこんなに涼しくなり始めたのでしょうか、木の葉はいつ黄色に変わったのでしょうか。このような変化まるで水の中で溶ける氷のように、跡形をも残していない。でも確実に変わっている。雲はゆったりと巻いて、万物すべて黙々としかも静かに始まっている。今日、また図書館に行きました。とうとう夢にまで見た自習室を見つけました。でも、ドアを開けると、入るのがためらわれるような感じでした。どの机の上もばらばらに本が積まれていて、さらに半分も終わってない宿題。スイッチついたままMP3と、昼間なのに煌々とついているスタンド。自分が忘れた資料、或いは公式を調べてる人、中には疲れて机にうつ伏して寝てる人もいる。窓の外には、名前の分からない鳥や昆虫な鳴き声が、この静けさの中の緊張した雰囲気を実際立たせている。涼しい風によって、試験に使われるインクの匂いが空間全部に満ち溢れている。。この光景は何なのだろう。中国の長春市の図書館の自習室ドアの前に居るかのようでした。中国で色々な種類の試験に努力し立ち向かってる友の姿が思い出された。私達の国の仲間が努力してる時、あらゆる国の学生も頑張っていることが分かった。文化には国境はないのです。各国の文化は自然と手を取り合い互いに融合して、世界文明の進歩に大きな貢献をすると同時に、深く理解しあい、心をも近くなるのです。だから、私はこの静かな雰囲気を（席がないのもあるのですが）破るのも忍びなくて、残念にも、ようやく探しあてた図書館と自習室を離れました。家に帰る途中、私は時間あったからSATYに行こうとしたけど、結局探し出せず迷ってしまいました。どういけばいいかと悩んでる時、おばあさんがやって来て私にXXX中学は、どう行けばいいか、この近くなのと尋ねてきた。私は、ごめんなさい、私も分からないと言って、私道に迷ってるんですと言おうとしたら、そのお婆さんは独り言をいった。：“自分の家の近くの中学知らないなんて？”と。本当にすごく恥ずかった！！実は、この都市は1つの川が2つに分けてて、私はずっと川での別の方で生活しているのです。ショッピングや、車に乗ったりとか。川のこちら側は、お母さんが車で食事や買い物に連れてきてくれたことがあるけど、自分一人であまり歩かない。これからは、地図を開いてよく研究したほうがいいみたい。自分の暮らしている所だもの。恥ずかしいよね。。。新しい環境になって、まず周りを理解し、自主的に観察し経験すべきようです。そうすれば、その時になって狼狽することはなくなります。解るのが少し遅かったかな。でも、これから自分で努力しよう。教訓をもっといかさなきゃ！！

## 天気

2007.10.24

どんよりとした空は、まるで太陽の光が隙間から流れ落ちるのを阻止できないかのようだ。その後空いっぱいになり溢れていった。このようなたゆまないサイクルを繰り返し、飽くことのない交替を知らずに私は自然の与えてくれた生活を楽しんでいます。なんと落ち着いて心地良いのだろう。まるで空気の中で負荷の時間は軌道に従ってゆっくりと私達に付き添って滑っていくようです。終点と境界線のない、自由な感覚です。両親と連絡があってから、あちらの状況を知りました。以前のように忙しくはなく快適なようです。長春はすでに、かなり寒いはずですが！秋のきらびやかな美しい季節を思い出しながら、落ち葉の高く上がる冬季の空は、寂しいものがあります。渡り鳥は、ばらばらに飛び立ち、最後の頑張りを保てないようです。日本の空は比較的にぎやかです！涼しくなったとはいえ、カラスはやはりカーカーと鳴き、心をますます寒くします。（私の眼から見れば、カラスは可愛い類ではないのです）実はもともと私はいつも、沢山着込みたいタイプですが、今はスカートをはいています。どうしちゃったのでしょうか。（中国だと両親にいい気になってると言われそう）だからずっと試さなかった。でも、女子高生の生活や習慣を理解したくて。まさに、にっちもさっちもいかない感じです。脚の間から風が吹いて気持ちは良く、ある快い感覚があります。つまり～凍える～。こんな寒さに対する忍耐はまだ11月にもならない点から見たら、これからだといえます。昼になっても相変わらず、可愛い太陽おじさんの主演です。ここでの生活の細々な出来事が、私の成長の記憶のお供をしてくれます。寒いこと、寂しいこと、楽しいこと、悲しいことも。ちゃんと忘れずにいよう。未来まで連れて行き、空を作るのです。その時、私は水を得た魚のように、なるでしょう！経験しなかったわずかなことは、悲しい！！（先生、あの私達に書いてくださった感想のファイル、今日（24日）受け取ったところです。だから、早くても今日書き終え、明日（25日）郵送します。いつ着くか分かりません。夜になるかも。ごめんなさい。

## 彼岸

2007.11.08

過ぎ去った黄昏、まだ来ぬ夜明け。日の光はあまねく照らしわたる。風がそれを吹き散らし、緩慢に広がってゆく。風が安堵の気持ちまで吹き飛ばしてしまうのを恐れるなら、私たちは手を取り合ってお互いを暖めあう。慈しみあう。。最近忙しくて、文化発表会や、学園祭、伝統行事の祝日。。。でも私は全部に参加しますよ！ちょっと残念だったのは、文化発表会するとき、私が所属する和服部の出演の際、私はずっと舞台裏で手伝っていたので、実際にその演目を見ることは出来なかったのです。でも後日先生が全行程を録画したディスクを渡してくれましたが、やはりとても嬉しかったです。出演のときは、みんなとても緊張して無理そうでしたが、でもわたしはなんだか感動しました。本当にこの学校、そしてこの生活は私を丸ごと受け止めてくれています。友人たちと一緒に努力すること、プログラムの上演の成功に向けて忙しくも頑張ること。一緒に笑い、汗を流し、まるで甘えているかのように先生に休ませてくれと愚痴を言う・・・すべてを私に許してくれます。本当にこれは幸せで、小さな感動をもたらしてくれます。成功したか、他の人たちも同じように感じてくれたかはどうでも。必ず最後には一番素晴らしいフィナーレを迎えられるのです！私は忙しいのが好きです。だって、たくさんの思い出したくないことを、忘れていられるから。しかも、後から振り返るときには、充実感も味わえるので。本当に、友人たちには感謝！です。学園祭の際、私たちのために食べ物の屋台をまわってくれた人もいます。ホント、食べる時間もなかったのです。私たちはじっくり味わうまもなくクリームケーキやなにかやを、たいらげまた「お仕事」に戻っていったのです。面倒がらず、色々助けてくれた人たちに感激です（私ったら、ホント、感激屋ですね）。暗闇の中からそっと添えられた私を彼岸に導いてくれる暖かな手のような、あるいは感じる漆黒を。でも目を閉じて信じてさえいれば、手から伝わるぬくもりはきっと心の中まで暖かくしてくれる。

## お久しぶりです

2008.01.27

ずーっと日記を書いてませんでした。写真は部活のときに撮ったもの、最後のは成人式のときに神社で撮ったものです。3枚しかアップできなくて少し残念です。毎日みんなの日記を読んでいます。みんな私を覚えてる？みんなの楽しい出来事を読んでも自然に笑いが出、みんなの哲学的な文章を読んでも思わずうなずいてしまいます。みんなが楽しんでいる様子を感じると、ゆっくりと自分の楽しみに変わってきます。この変化も心の収穫ですね。 私たちが日本で出会ったすべての人、すべての出来事はみな縁があったものだと私は思っています。このような縁があって初めて私たちはこの18歳の1年に“偶然ではない”出会いと理解をし、互いに楽しみを授け合い、努力する気持ちを感じることができるとは。それはバスに乗っているときに、窓の外で真正面から歩いてくる人もそう、不注意からお互いに謝り見詰め合う人もそう。私にとってこのような人々は知らない人でも赤の他人でもなく、努力によって会う縁を得た人々、生活の真実味を満たす一部です。この都市での生活の痕跡を記述しかき集めることはもしかししたらそのプロセスがもしもかもしれません。だから、ただそれだけであろうと、心を尽くして大切にしたいと思います。失うことを恐れるだけでなく、生活の一部として一生懸命尊重したいと思います。学校で私たちのお世話をしてくれる先生方、ふざけ合いながら楽しくお喋りする友達、私たちを自分の子供のように受け入れてくれるホストファミリーのお父さんお母さん。私たちの生活に深く関わってくれた人々。みんな、この18歳の一年で得た最大のプレゼントです。家族の気配り、友達の信頼、心配してくれた先生からの問合わせ。それらが知らず知らずのうちに私たちへの最大の励ましと原動力になっていることは間違いありません。ホストファミリーには心から感謝しています。家族の幸せは私の幸せ。家族のために何かできたなら私は思いがけない満足感を得られると思います。本当に、隠し事などまったく無く、本心を話せる家族です。だから私は幸せを感じられるんだと思います。私が一番残したいのは笑顔、一番記憶にとどめたいのは家族の笑顔。そうしたらいつ思い出しても笑っていられるでしょう。そしてみんなが仲良くでき、たくさんの約束も交わせます。楽しいこと、温かいことは実はとても簡単なこと。探す必要はなく発見するものだと思います。そう考えると、中国の一人っ子はやっぱり孤独ですね。明日、1人の留学生が帰国します。彼女はここに10ヶ月いた私の最高の親友のうちの1人です。彼女の帰国に対しては少しだけ怖くもあり、真実味がありません。まるで自分も帰国しなければならぬみたいです。ホームシックはあるけど、慣れれば多くの事を変えられます。みんなでこんなに楽しい日々を過ごしてきました。普段はごく普通のことです。私たちは普通のことに見ても注意もしません。でも本当にそれがなくなると、普通のものと思っていたものが私たち皆を困らせます。でも皆まだ若いし、彼女の分は私が頑張ります。私は今、満足感をもって全てに立ち向かい生活しています。最後になりましたが、皆と大阪で再会できる事を楽しみにしています。みんな引き続き頑張ろうね！！

## 新年のご挨拶

2008.02.07

今日は旧正月の元旦、まずは交流基金会の諸先生方、それぞれの地でがんばっている同級生たち、そして私の日記を読んでくださっているみなさまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様にとってすばらしい一年となりますよう。この台詞でやっと新年らしくなったかな。へへ。この時期はやっぱり去年の時のことをおもいださずにはいられせんね。去年の今頃は家族と一緒にいました。もしくは親戚の挨拶回り。それともみんなといる安心感のなかあわただしくも楽しく諸事をすませていたか。雪の溶け出した路面にまで新年の雰囲気があふれ、街のあちこちであがる正月を迎える爆竹の喧噪が家族団らんをいっそうもりあげる。みんなの笑顔が頭に浮かんできます。何度も時計の針を確かめては今頃はみんななにをしているかな？どんなことを話しているのかしらとつい想像しています。かつての私のように今この時を過ごしている人もいるのでしょうか。なにやかやと口実をみつければ台所に顔を出し、察してくれた大人たちはにっこりとむかえてくれ、とくに年配の方々は私のしっかりものぶりをよこんでくれるのです。そしてお父さんとお母さんにこの一年この子をきちんと育てたよね、だってこんなに体格もよくなって、など、くすぐったくなるようなことを言ってくれるのです。去年まではこんなこと、全く当たり前のことだと思ってこの17年間、特に気にもとめたことはありませんでした。まさかみんなと一緒に過ごさない春節（旧正月）がくるなんて思ってもいなかったから。でもこの特別な18回目の春節がいろいろなことを思い出させてくれました。だからこれからの18年もきっと忘れないでしょう。来年はこれまでのように家で迎えられることでしょうか。でもそのとき思うのは今思っているようなこと、そして今の生活かな。だっていつもは忘れられがちなのが本当はとても大事なことになるのかもしれないので。日常で大事なことは見失いがちです。思い出も大事だけれど今をしっかりといきることがなにより大事なことです。今日はひとりぼっちですごく大事な日なんて思いたくありません。それでは寂しすぎるので、みなさんに今日は中国の春を迎える大事な日なのだと伝えたいのです。話したいこともたくさんあります。特別にこの日はお金入りの餃子を作るなどいろいろ違った新年を迎える習慣があるのです。今日はちょうどある同級生の誕生日でもあります。彼女が今中国にいるといいな。中国の習慣では旧正月の元旦は楽しく笑って過ごします。こうして新しい年を笑ってむかえるのです。みなさんは春節をどうお過ごしでしょうか。みんなと直接話したいな。でももうすぐ中間研修です。とても楽しみです。やはり最後には新年おめでとございませう、皆さんにとってよいお年になりますように。歌って踊りながら皆様のすばらしい1年をお祈り申し上げます。ハハ！

## どんな気持ち？！

2008.05.13

日記は本当に久しぶりです、ごめんなさい。すみません。でも皆さんの日記を読むと、とても楽しめるし、満足してます。まず日中交流センターの先生に謝りたいです。病院に行くことで先生方々に御心配をおかけしました。（先生のごことは家族のように感じ、小さい「幸せ」がありました）私はもう治りましたので、ご安心ください。ありがとうございます、これからは気をつけます。春の季節になった。風はとても暖かい。生活が本当に楽しい。頭上の空が風に一晩中吹かれ、純粋なブルー色、私は頭を上げて、お空の淡々と広げていく風景を楽しんでる。風はとても穏やかで、日光に包まれ吹くと、どこから反射された光が現れる。風の静かなやさしさに満足していると同時に、私は目を閉じて、こののんびりとしたゆっくりに好きになる。それから自分をこの感覚に囲んでいく。以前の私たちの成長はいつもたくさんのおそばに囲まれて、どんなに時間がたっても気づかなかった。変化は少しずつの習慣となり自然な混合体だった。けれどそれでも、以前或いは今の私たちはやはり子供っぽいまじめさがまだまだある。それは本当に山に登って、海に向けて、それから海声の存在を認める執着だ。それも木の陰が再び窓にかかるまで、雲が太陽を隠すような、自分に対する誠実さだ。どんなに何があろうとも、これらは私達がこの透明な年代での収穫だ。最近四川省の地震がとても深刻だと聞きました。北京まで余震を感じられたそうです。両親から聞いたのだけど、その時は別に気にしてなかった。今朝、バスから降りた途端、古典を教える先生に大丈夫かと心配されました。先生も地震のことを知っているとは知らなかったので、びっくりしました。が。。。。先生に私が住んでるところは大丈夫ですと伝えた時、先生もほっとしたご様子でした。私の心はまた暖かくなりました。昨日からずっと心配していたそうです！そして今日はたくさん学校の友達、他のクラスの子もとても心配そうに私に地震のごとと家族の安否を聞きにきました。正直、意外だったから本当に感動しました。自分の感謝の気持ちをどう表現して皆さんのご親切に答えられるのかわかりません。この学校は、私に感動させることがたくさんあります。とても離れたなくなっています。友達も一緒に卒業が出来たらいいなと言っています。今日は学校のスポーツフェスティバル、多くのクラスはバレーを選んだ。実力が少し弱いメンバーに対して、ミスがあっても、私が見たのは、信頼、励まし、努力、笑顔しかなかった。勝つことも負けることも楽しいことだ。一番大事なのはみんなが楽しいことだ。今の私は結構変わった。たくさんの人々に感謝です。昔の自分を思い出すと思わず笑ってしまう。あと2ヶ月ぐらい、現実の矛盾を感じるんだ。両親に会いたい、ここの人達との別れも寂しい、自分とみんなはどんな気持ちで7月を迎えるのかを考えられない。けどやはり後悔を残したくない。残りの日々、もっと頑張らなくちゃ。みんなもそうよ、頑張ってるね。！！（ここで聞きたいですが、連絡板はなぜなくなりましたね。PWを入れても、元の場所にありませんでした。分かっている人がいれば教えてください。よろしくお願いします。ありがとうございます。）



### 先生、この一年間お世話になりました

2008.07.27

みなさん、私は家に着きました。実は昨夜着きましたが、もう夜遅かったので、インターネットを利用しませんでした。先生、この一年間お世話になりました。私たちはこれからもっとがんばります。ところで、ちょっと聞きたいのですが、交流センターの電話番号は変わりましたか。もしよかったら、連絡板で教えてくださいませんか。これから本当に新しい生活が始まりますが、みなさん、がんばってね。